



ひたちなか市長定例記者会見次第

日時：令和7年2月27日（木）午後2時30分
会場：本庁舎 応接室

1 開会

2 市議会提出予定案件

（1）令和7年第1回ひたちなか市議会3月定例会提出予定案件

- ・報告案件について（報告第1号～4号）
- ・一般議案について（議案第1号～46号）

（2）ひたちなか市令和7年度の予算概要

…P.02～P.15

3 イベント情報

（1）ひたちなかダンスフェスティバル開催 ほか

…P.16

ひたちなか市の令和7年度当初予算の概要

一般会計	628億4,900万円
特別会計	495億0,375万円
総 額	1,123億5275万円

一般会計は、過去最大となる予算規模

令和7年度当初予算のポイント

- ①第3次総合計画を完結し、第4次総合計画に向けた新たな種蒔き予算（総合計画引継ぎ予算）
- ②職住育近接のまちづくりを推進するためのバランスの取れた予算

予算計上した主な事業について

◎これまでの主要施策の推進

- ・ 雨水幹線整備、河川改修、冠水対策、土地区画整理事業
- ・ 新中央図書館建設 （設計委託：債務負担行為 R6～7）

◎将来につながる各種計画の策定

- ・ 第4次総合計画策定事業
- ・ 中心市街地まちづくり計画策定事業
- ・ 地域公共交通計画策定事業

◎子育て支援の推進

- ・ 保育施設等整備事業（つだ保育所施設整備，子育て支援拠点整備）
- ・ 学校給食について，食材費高騰分を公費負担

◎環境施策の推進

- ・ 公共施設照明のLED化
（道路・公園照明：債務負担行為 R6～17，スポーツ施設：債務負担行為 R7～17）
- ・ 再生可能エネルギー導入促進事業

◎市民の利便性向上に資するデジタル技術の導入

- ・ 本会議場傍聴席に字幕化表示モニターの設置
- ・ 遠隔手話通訳システムの導入

1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

○防災情報配信事業

409,173千円

- ・市民へのより確実な情報伝達を実現するため、引き続き防災行政無線の屋外拡声子局のデジタル化更新工事を進める。
- ・ひたちなか安全・安心メールやSNSなどを活用することで、情報伝達手段の多元化に努める。

【担当】生活安全課

○地域防災力強化事業

24,813千円

- ・激甚・多発化する自然災害の脅威に備えるため、自主防災会と連携して避難行動などを主体とした市民参加による実践的な防災訓練を行うとともに、その内容を振り返る意見交換会の開催等を通じ、各地域における防災意識の向上を図る。
- ・地域が独自に行う訓練や市政ふれあい講座等を通じて、段ボールベッドなどの防災資機材に触れる機会を創出するとともに、防災リーダーの育成に引き続き取り組む。

【担当】生活安全課

1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

○災害時重要給水施設配水管更新事業

414,477千円

- ・市役所やひたちなか総合病院，災害時に指定避難所となる学校や行政施設などの災害時に重要拠点となる施設に給水する配水管について，災害に強い強靱な耐震管に更新する事業を計画的に進める。

【担当】水道事業所

○配水幹線更新事業

488,227千円

- ・上坪浄水場から市内中心市街地へ配水する重要な配水幹線（口径700mm）が布設から50年以上が経過し耐震性も低い管路であることから，災害に強い強靱な耐震管に更新する事業を計画的に進める。

【担当】水道事業所

1 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくり

○下水浄化センター整備事業
409,000千円

- ・下水浄化センター等の老朽化及び耐震化対策のため、計画的な改築及び更新を進める。

【担当】 下水道課

○集中豪雨対策事業
3,715,720千円

- ・「中丸川流域における浸水被害軽減プラン」に基づき、国や県と連携しながら河川や下水道の整備を進めるとともに、地元の住民や企業と一体となって流域全体での治水対策を推進する。

【担当】 河川課

2 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくり

○【新規】 障害者福祉事業

5,280千円

- ・聴覚障害者に対する更なる支援の充実に向け、携帯電話を活用して遠隔地の手話通訳者のサポートを受けられる遠隔手話通訳システムを導入する。

【担当】 障害福祉課

○【新規】 带状疱疹ワクチン接種事業

27,147千円

- ・令和7年度より定期接種B類に位置付けられる高齢者を対象とした带状疱疹ワクチンに関し、医師会と連携しながら円滑な接種体制の整備を進めるとともに、積極的な情報発信を行うことで、高齢者の重症化予防に努める。

【担当】 健康推進課

3 子育て世代に選ばれるまちづくり

○【新規】 保育施設等整備事業

5,368千円

- ・ つだ保育所においては、0歳児と1歳児の保育スペース拡充を図るための改修工事に着手する。併せて、同保育所内に設置されている「子育て支援センターひまわり」については、令和8年度から開始予定の「こども誰でも通園制度」にも対応可能な子育て支援拠点としてリニューアルするため、移転先となる佐野幼稚園の空き教室の改修工事に着手し、より広いスペースの確保を図る。

【担当】 幼児保育課

○部活動地域移行事業

3,239千円

- ・ 実証事業や地域のスポーツ・文化芸術団体との協議を通じて課題を整理し、令和7年度中に休日の学校部活動を地域クラブ活動へ円滑に移行できるよう取り組む。

【担当】 教・指導課

○【新規】 文化財保存・活用事業

1,425千円

- ・ 十五郎穴横穴群が令和6年に国指定史跡となったことを機に、隣接する虎塚古墳を含めた一体的な保存、活用計画の策定に取り組むとともに、地域に所在する貴重な史跡等の教育的活用を推進する。

【担当】 教・総務課

4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

○ほしいも振興事業

6,526千円

- ・ 良質な原料芋の生産や衛生的な加工施設の整備に対する支援を引き続き行うとともに、ほしいもの新たなアレンジメニューの開発やプロモーション活動を通じて、その魅力を高め、「ひたちなか市産ほしいも」の更なる認知度向上とブランド化に取り組む。

【担当】農政課

○茨城港常陸那珂港区整備事業

234,606千円

- ・ 令和6年度から水深14m岸壁の整備事業が新たに着手されるなど、港湾施設の充実が図られており、今後も、港湾の着実な整備が進められるよう、国や県への働きかけを行う。
- ・ 取扱貨物量についても堅調に推移しており、コンテナ取扱貨物量は、令和5年に過去最高を更新した。引き続き県や東海村等と連携しながら、荷主企業等を対象としたセミナーの開催や国内外へのポートセールス、コンテナ貨物集荷促進事業に取り組み、更なる港湾の利用促進に努める。

【担当】企画調整課

4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

○中小企業支援事業

32,496千円

- ・産業活性化コーディネーターや商工会議所等と連携した伴走支援を継続するとともに、生産性向上を図るため、新製品の開発や販路開拓、人材の育成・確保などへの補助を引き続き実施し、事業者の積極的な取組を支援する。

【担当】 商工振興課

○ふるさと納税推進事業

248,984千円

- ・個人版ふるさと納税について、令和6年12月末時点で18,000件以上のご寄付をいただき、寄付額は3億円を上回った。令和7年度は寄付額5億円を目標に、引き続き、地域おこし協力隊とも連携しながら、地場産品や体験型など、本市ならではの返礼品の拡充に努め、本市の魅力発信や産業の活性化、寄付受入件数の増加による自主財源の確保につなげる。
- ・受け入れた寄付金については、市民と寄付者に共感していただけるよう、有効に活用していくとともに、活用状況について積極的に発信することで、寄付者との信頼関係を構築する。

【担当】 企画調整課

5 快適で機能的な住みよいまちづくり

○中心市街地まちづくり計画策定事業

10,000千円

- ・ 人と人，人とまちがつながり，そこに住む市民や関わる方が心地よく過ごせる魅力的な場所にすることを目的として，引き続き，ワークショップ等を通じて多様な意見を取り入れながら，官民が一体となったエリア全体の価値を向上させるための計画策定に取り組む。

【担当】企画調整課

○新中央図書館整備事業

147,757千円

- ・ 幅広い世代の方に活用していただける魅力的な図書館の建設に向けて，これまでに市民の皆様からいただいたご意見等も踏まえながら，引き続き設計業務に取り組む。

※図書館建設関連として石川町プール解体事業（145,524千円）を令和6年度3月補正にて前倒して実施。

【担当】中央図書館

○土地区画整理事業

3,091,932千円

- ・ 交通ネットワークでつながる良好な居住環境を備えた街並みの形成を図るため，都市計画道路や雨水排水の整備等を優先的に進めていくことを基本に，引き続き各地区の状況や特性に合わせた事業を展開する。

【担当】区画整理事業課外

5 快適で機能的な住みよいまちづくり

○【新規】地域公共交通計画策定事業

5,075千円

- ・本市の地域交通のマスタープランとなる「ひたちなか市地域公共交通計画」の策定に取り組み，持続可能な公共交通体系の確立を目指す。

【担当】企画調整課

○湊線支援事業

61,667千円

- ・令和6年度は，通勤定期利用者数が回復傾向にあることに加え，観光客をはじめとした定期外利用者数が増加しており，全体の利用者数は過去最高であった令和5年度の約117万人を超える見込みとなっている。引き続き，自立的・安定的な事業運営に向け，おらが湊鐵道応援団，沿線の市民の皆様や高校等と連携しながら，更なる利用促進に努める。
- ・安全な運行を確保するための設備投資に対する補助を，国や県と協調して行う。

【担当】企画調整課

5 快適で機能的な住みよいまちづくり

○再生可能エネルギー導入促進事業

8,027千円

- ・ 第3次エコオフィス計画で定めた温室効果ガス排出削減目標の達成に向け、ヘルス・ケア・センターの省エネ性能向上に向けたZEB化可能性調査を実施する。
- ・ 太陽光発電設備とあわせて蓄電システムを導入する家庭に対する助成を継続することで、温室効果ガス排出量の削減を図る。

【担当】環境政策課

○不用品買取サービス利用促進事業

108千円

- ・ ごみの減量化・再資源化については、資源循環による持続可能なまちづくりを推進するため、引き続き再生家具販売会を複数回開催するとともに、事業者と連携して取り組んでいる不用品買取サービス「おいくら」などの利用促進に取り組む。

【担当】廃棄物対策課

6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

○公共施設マネジメント推進事業

1,147千円

- ・限られた財源や人材によって，施設の安全性や行政サービスの継続性を確保していくため，公民連携による一元管理の手法について検討する。
- ・人口減少社会を見据えた持続可能な行財政運営を実現していくため，複合化や多機能化を視野に入れた施設保有量の適正化に関する方針の策定を進める。

【担当】資産経営課

○【新規】窓口デジタル化推進事業

14,643千円

- ・市民ホールの窓口番号案内表示システムの更新にあたり，窓口での待ち時間を短縮するためのWeb予約機能などを付加し，市民の利便性向上を図る。また，証明書等の発行に係る電子申請サービスにおいて，手数料をオンラインで決済できる機能を追加するなど，行政手続きの更なるオンライン化を推進する。

【担当】市民課・デジタル推進課

6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

○マーケティング推進事業

36,541 千円

- ・本市の魅力や住みやすさを発信し，様々な事業を通じてつながった方々と共感を生むためのコミュニケーションを図り，多くの方々に本市のファンになっていただく取り組みを進める。

(対象事業)

- ・学生エール便事業 4,760千円
- ・絆構築プロジェクト事業 4,084千円
- ・市民サポーターによるSNSを活用したまちの魅力発信事業 468千円
- ・ファン共創事業 5,350千円
- ・まちの魅力発信（シティプロモーション）事業 615千円
- ・海浜公園入園券引換券・スマイルあおぞらバス乗車無料券プレゼント事業 1,402千円
- ・お試し移住ツアー事業 479千円
- ・移住フェア等での情報発信事業 266千円
- ・わくわく茨城生活実現事業移住支援金事業 18,000千円
- ・マーケティングアドバイザー関連事業 600千円
- ・その他マーケティング関連事業 517千円

【担当】企画調整課

○第4次総合計画策定事業

11,077 千円

- ・教育，福祉，産業等の分野ごとの専門家や関係者等と行政職員が意見を交わす機会などを通じてビジョンの磨き上げや施策の具体化を図りながら，市民の皆様に共感いただけるような計画の策定に取り組む。

【担当】企画調整課



イベント情報

ひたちなかダンスフェスティバル 他2件

30th Anniversary
ひとが咲くまち。ひたちなか

～みんなで踊ろう「素敵な明日のために」～

ひたちなかダンス フェスティバル開催



開催日	令和7年3月16日（日）※雨天中止
主催	ワクワクひたちなか実行委員会
会場	親水性中央公園 ※駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングまたは公共交通機関・勝田駅～会場間シャトルバスをご利用ください。
内容	ひたちなかソング「素敵な明日のために」と「ひたちなか踊り」は、平成9年のひたちなか祭りで盛大に披露され、それ以来多くの方に親しまれてきました。 市誕生30周年を記念し、みんなで踊り、楽しみ、祝うダンスイベントを開催します。 【10：00～ダンス広場】 ○各種団体（HIPHOP、社交ダンス、サンバなど）による特設ステージでのパフォーマンスを楽しめます。 【14：00～ダンスパレード】 ○親水性中央公園の1エリアを広々と使い、参加団体のみんなで輪になって「ひたちなか踊り」を踊ります。当日の飛び入り参加も歓迎です。最後に集合写真を撮影予定。 【その他の催し】 ○キッチンカーの出店、焼き芋無料配布（数量限定）、ミニSL、餅つき など
ダンスパレード 参加者募集中	少人数でも参加可能です。気軽に申し込みください（3月9日締切） 申込方法：市HPから電子申請



国指定史跡 虎塚古墳石室壁画春季一般公開

国指定史跡 虎塚古墳石室壁画の一般公開を行います。実物の壁画を見学できる大変貴重な機会ですので、たくさんの方々の来場をお待ちしております。

公開期間	令和7年3月20日（木）から3月23日（日） 令和7年3月27日（木）から3月30日（日）（計8日間）
公開時間	午前9時00分～午後0時15分 午後1時30分～午後4時15分
場所	虎塚古墳（ひたちなか市中根3494-1）
観覧料	大人160円（130円） 小中学生80円（60円）※（ ）は20人以上の団体
概要	虎塚古墳は、7世紀初頭（約1400年前）に造られた前方後円墳です。 後円部に横穴式石室があり、石室内に彩色壁画が見られます。壁画は、白色粘土を下塗りした上に赤色顔料のベンガラ（酸化第二鉄）で丸や三角などの幾何学紋様のほか、楯・鉾・大刀などの当時の武器や武具類などが描かれています。 わが国で発見された装飾古墳の中でも、紋様が極めて豊富であり、また、保存状態が良いということで昭和49年、国指定史跡となりました。 壁画は春と秋の年2回、一般公開しています。

ネモフィラ早朝鑑賞体験

ひたちなか市誕生30周年記念事業として、今年度国営ひたち海浜公園協力のもと実施したネモフィラ・コキア早朝鑑賞体験は、参加者から好評をいただき終えることができました。こうした本市の誇る絶景を満喫できる特別な鑑賞体験は、市民のシビックプライドの醸成に大きく寄与するものであると評価しています。

令和7年度は、「市民モニターツアー」として、体験者に口コミやSNS等で感動を発信してもらうことを目的に、ネモフィラ早朝鑑賞体験を実施します。

募集の詳細は、市報ひたちなか3月10日号及び市ホームページでご案内します。

開催日	令和7年4月22日（火）※雨天決行，荒天中止
主催	ひたちなか市
会場	国営ひたち海浜公園
申込対象者	令和7年3月1日現在でひたちなか市に住民登録のある18歳以上の市民
定員	30組（1組2名様まで） ※同伴者は市内在住の家族のみ。（年齢の制限なし・18歳未満可） ※申込者のお子さま（中学生以下）は、人数に含めず同行可。 ※ペットの同伴不可
申込方法	いばらき電子申請サービスから申込み
申込期間	3月10日（月）～3月31日（月）
体験行程（予定）	6：15集合・受付 6：30移動～みはらしの丘到着後自由鑑賞 8：00観覧終了 8：30完全退園
その他	当選結果・詳細については4月8日（火）ごろにメールで通知予定。 落選した方への連絡はいたしません。 ※入園料については、参加者の負担となります。 （大人（高校生以上）640円。中学生以下は無料）



（昨年の早朝鑑賞体験の様子）

